

# ロータリー財団を理解しよう！ クラブの進化・深化・新化に向けて

2022年10月7日(金)

2022-2023年度 RID2780  
地区・財団資金推進委員会



# イソップ寓話で 誰もが知る「北風と太陽」のお話し！

1. 北風は旅人に **強く風を** 吹きつける…
2. 太陽は旅人を **暖かい陽** で照らす…

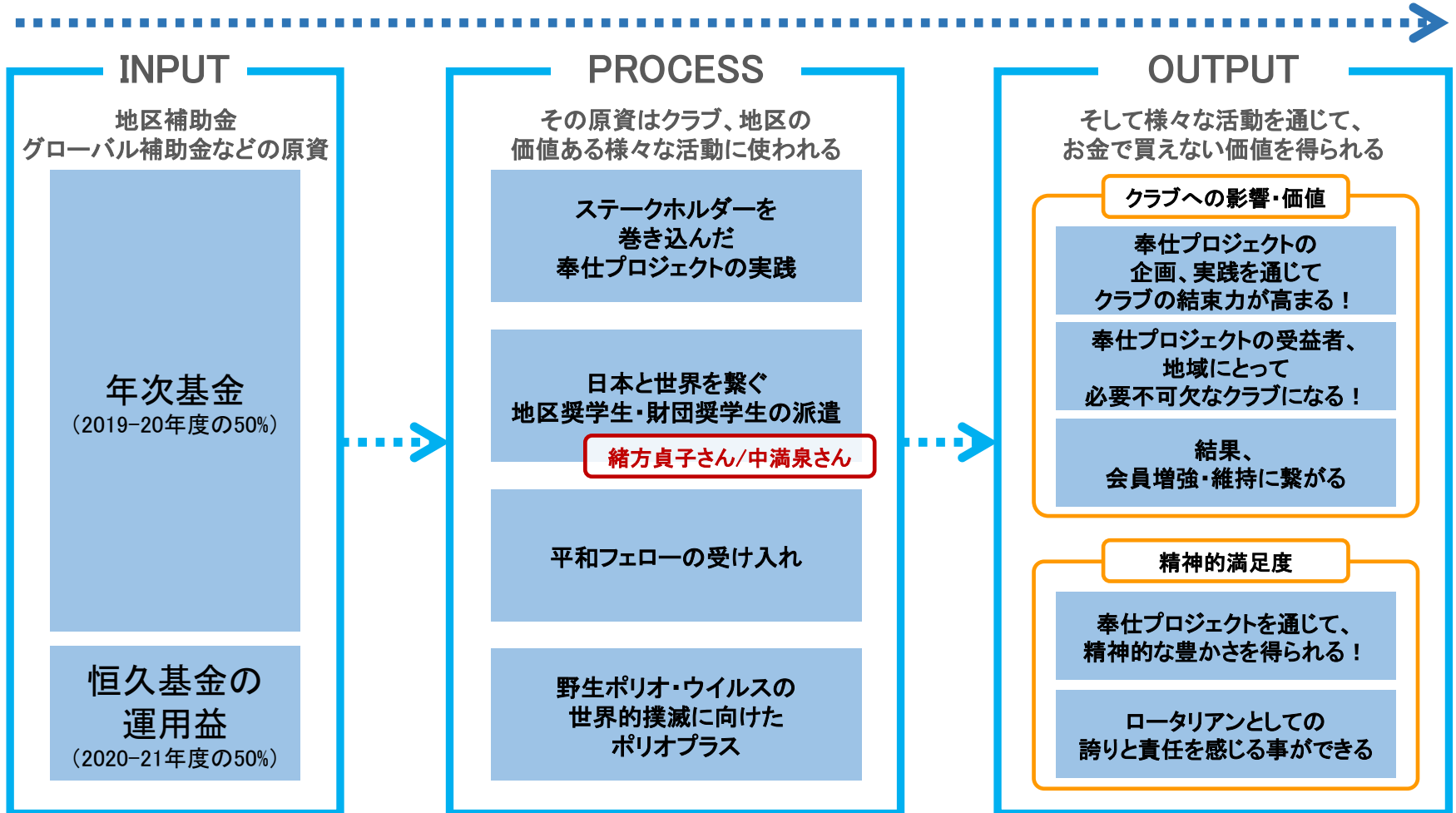
旅人が着物を脱いだのは北風？太陽？  
答えは皆さんご存知の通りです。。。。





# 寄付の使途とクラブに齎す効果

年次基金、恒久基金を理解する上で最も重要なことは、  
基金(寄付)の使途、クラブとロータリアンにもたらす影響や効果を正しくご理解、認識し、  
共感いただく事だと私達は考えます。



**私達が払う税金も、  
無駄なく、価値ある使われ方をする事に  
強い関心があります。**

**一方、無駄なく、価値ある使われ方をしたとしても、  
我々の生活が劇的に変わることはありません。**

**納税は義務！基金（寄付）！の違いはあるにせよ、  
使途（PROCESS）と得られる価値（OUTPUT）を理解すると、  
ロータリー財団への理解、基金（寄付）への関心も  
高まるのではないのでしょうか。**

即ち、年次基金、恒久基金の寄付により、  
クラブとロータリアンにもたらす影響、効果を整理すると以下の様になると考えられます。

その①: 年次基金の寄付により、  
クラブは価値ある奉仕プロジェクトにチャレンジ  
する機会を得られる！



機会の  
獲得

その②: クラブは価値ある奉仕プロジェクトを通じて、  
クラブの存在意義を実感し、ロータリアンとしての  
誇りを高められる！



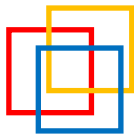
自信と誇り

その③: その結果、我々は  
お金では買えない心の豊かさを得る事ができる！



精神的  
満足

**RID2780は、会員一人200\$の年次基金を目標に掲げていますが、  
目的は、上記①～③の実現だと我々は思います。。。**



# 年次基金寄付額と クラブ奉仕プロジェクトへの地区補助金支給額



RID2780内の年次基金の寄付状況を知り、  
自分達のクラブの基金(寄付)に対する地区内ポジションを把握しておく事も重要です。

■達成率・・・会員一人200\$に対する達成率

毎年、約58%のクラブが  
80%以上の達成率！

達成率	2017-2018年 大谷年度		2018-2019年 脇年度		2019-2020年 杉岡年度		2020-2021年 久保田年度		2021-2022年 田島透年度	
	クラブ	年次基金 寄付額	クラブ	年次基金 寄付額	クラブ	年次基金 寄付額	クラブ	年次基金 寄付額	クラブ	年次基金 寄付額
100%以上	18	\$178,347	21	\$185,061	24	\$240,714	22	\$205,793	24	\$237,397
80%以上100%未満	20	\$144,978	18	\$110,041	16	\$97,078	16	\$95,642	14	\$76,625
50%以上 80%未満	24	\$109,149	21	\$107,215	18	\$79,443	21	\$83,266	16	\$72,984
50%未満	4	\$3,891	7	\$19,405	9	\$16,790	8	\$22,306	11	\$29,483
	66	\$436,365	67	\$421,722	67	\$434,025	67	\$407,007	65	\$416,489

地区補助金 申請クラブ						34クラブ	14クラブ
決定クラブ						29クラブ	10クラブ
奉仕プロジェクト 実践クラブ						21クラブ	7クラブ
地区補助の支給額						\$59,596.00	\$23,150.00

3年前の年次基金の50%が、3年後の地区補助金、グローバル補助金の原資となり、  
各クラブの様々な奉仕プロジェクト資金として利用される！



# 年次基金(寄付)の達成率が高いクラブは？ 自分達のクラブとの違いは？



直近5年、会員一人当たり200\$の年次基金寄付を3回以上達成しているクラブは、毎年、高い達成率を継続している常連クラブです。・・・<下記参照>

一方、会員一人当たり200\$の年次基金寄付、50%未満のクラブの顔触れも常連化・・・!?

■達成率・・・会員一人200\$に対する達成率

	クラブ	G	寄付(会員一人200\$)達成率				直近5年計			地区補助金を活用した奉仕プロジェクト	
			100%以上	80-100%	50-80%	50%未満	年次寄付額	平均	達成率	2020-21年度	2021-22年度
1	アークス湘南	3	5回			-	26,697	685	342.3%		
2	秦野名水	7	5回			-	48,806	394	196.8%	●	
3	茅ヶ崎	4	5回			-	63,192	295	147.6%	●	
4	横須賀	1	5回	-	-	-	164,672	279	139.6%	●	
5	藤沢北西	3	5回	-	-	-	16,909	220	109.8%		
6	ふじさわ湘南	3	4回	1回			61,009	359	179.4%		
7	茅ヶ崎湘南	4	4回	1回			54,024	231	115.4%		
8	葉山	2	4回	1回		-	25,210	210	105.0%	●	
9	平塚	8	4回	1回		-	63,355	208	103.9%		
10	横須賀北	1	4回	1回		-	23,120	199	99.7%		
11	横須賀西	1	4回	1回		-	14,285	193	96.5%		
12	平塚西	8	4回	-	1回	-	59,384	407	203.4%		
13	大磯	8	4回	-	1回	-	14,554	192	95.8%		
14	逗子	2	3回	2回		-	51,164	215	107.5%		●
15	綾瀬	6	3回	2回		-	34,596	195	97.7%		
16	湯河原	8	3回	2回		-	23,594	195	97.5%		
17	津久井中央	5-A	3回	1回	1回	-	26,819	298	149.0%		
18	相模原	5-A	3回	-	2回	-	82,426	244	121.9%		
19	藤沢南	3	3回	-	2回	-	34,204	182	91.0%		
20	相模原かめりあ	5-B	3回	-	-	1回	22,004	206	102.8%	●	

5年連続、達成率100%を継続

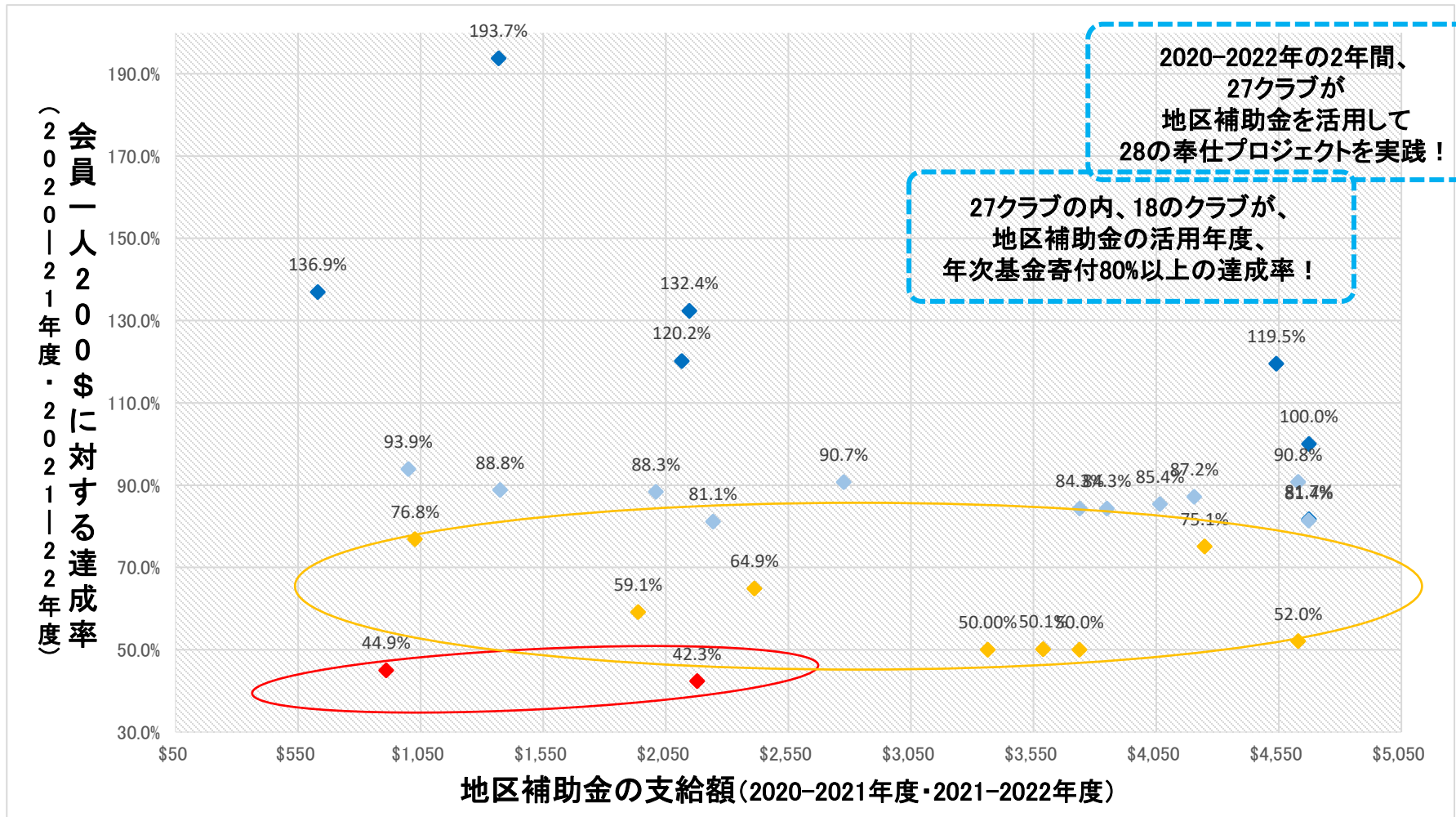
毎年、高い達成率を維持



# 地区補助金を活用した奉仕プロジェクト



地区補助金を活用した奉仕プロジェクトの実践は、全てのクラブに機会があります。  
一方、地区補助金を活用しながら、基金(寄付)への理解が不十分なクラブがあるのも現実です。







# 年次基金(寄付)の改善に向けた取り組み

毎年、高い達成率で年次基金の寄付を継続している常連クラブの特長とは何か…  
我々は特長として以下に掲げる仮説を立ててみました。

その①: 年次基金(寄付)に対する議論が、  
例会、理事会等を通じて頻繁に行われている  
クラブ!



クラブの  
風土

その②: 毎年、年次基金が寄付される仕組み、仕掛けが  
確立されているクラブ!

例1) 会費より自動引き落とし  
例2) 奉仕プロジェクト実行年度の寄付の増額 等々



寄付の  
仕組み

その③: 様々な奉仕プロジェクトの企画、実践に積極的に  
行動するクラブ!



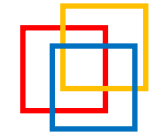
奉仕  
プロジェクト

その④: クラブ内に、毎年、年次基金の大口寄付をして  
下さるロータリアンが存在するクラブ!



鑑の存在

これら全てが兼ね備わるのは大変なことだと思います。  
しかしクラブの中で、やれる事もきっとある筈です。



# 本日の卓話を総括すると・・・

- 年次基金(寄付)に関しては、  
其々のクラブの事情や、クラブを構成する其々のロータリアンの事情  
もあることと思います。

---

- しかし、2022-23年度、  
佐藤祐一郎ガバナーが掲げた地区の方針は、  
COVID-19 によって足踏みした活動を取り戻す年にすること！

---

- 本日の卓話をキッカケに、
  - \* ローター財団について、クラブの中で話し合ってください！
  - \* 年次基金(寄付)の必要性について、何かを感じてください！

---

- そして年次基金(寄付)は、  
全てのロータリアンの使命と誇りにより成り立っていることを  
是非、ご理解下さい。

**私達は、旅人を暖かい陽で照らす太陽です！**

